

平成17年4月15日

各位

東京都中央区日本橋室町1-5-3

わかもと製薬株式会社

<http://www.wakamoto-pharm.co.jp>

シンバイオティクス健康食品「ワカメイトPH」ヒト摂取試験で 健康増進効果を検証 - プロバイオティクスシンポジウム'05で発表 -

わかもと製薬株式会社（本社：東京都中央区日本橋室町1-5-3 代表取締役社長：石井敬志）は、当社相模研究所にて乳酸菌およびサイリウム種皮配合シンバイオティクス健康食品「ワカメイトPH」の健康増進効果について研究致しました。

今回の研究においては、乳酸菌およびサイリウム種皮配合シンバイオティクス健康食品「ワカメイトPH」の健康増進効果を確認するため、*Helicobacter pylori* (Hp)陽性男性16名（平均54.6歳）を対象に、1日1回1包を8週間摂取する試験を実施致しました。その結果、摂取前と比較し、便中Hp抗原濃度が、摂取後、有意に減少するとともに、胃粘膜の萎縮性評価指標の1つである血清ペプシノーゲン法で胃粘膜萎縮陽性と判定された7名のうち3名の判定値が、摂取後、改善致しました。

Hp陽性男性を対象とした「ワカメイトPH」8週間摂取において、胃内Hpの減少と胃粘膜の萎縮改善が示唆される結果が得られたことを確認致しました。

当社は、この研究成果を、『乳酸菌克蘭ベリー含有食品「ワカメイトPH」の摂取がHp陽性者に及ぼす影響』と題して当社相模研究所鈴木信之により、4月22日（金）開催、プロバイオティクスシンポジウム'05（三井プラザホール）において学会発表致しますので、お知らせ致します。

わかもと製薬は、医薬品分野で培ってきた乳酸菌や発酵関連技術を応用した健康食品の研究開発・製品化を今後も進めて参ります。また、健康食品の持つ機能性を研究・解明し、お客様満足につながる当社製品情報を積極的に提供することを通して消費者の皆様の健康増進に寄与して参りたいと考えています。

今回の発表概要は以下の通りです。

1. 発表演題

乳酸菌克蘭ベリー含有食品「ワカメイトPH」の摂取が*Helicobacter pylori* 陽性者に及ぼす影響

発表者名 鈴木信之、若杉昌彦、佐藤匡美、黒岩希実子、中谷恵理子、加藤あずさ、平田晴久

所属 わかもと製薬・研究開発本部相模研究所

2. 発表要旨

【目的】

我々は昨年の本シンポジウムで克蘭ベリーが*Lactobacillus salivarius* WB 2 1 (Ls)の抗*Helicobacter pylori* (Hp)活性を高めることを報告しました。

Ls、克蘭ベリー及び食物繊維サイリウムを配合したゼリージュース「ワカメイトPH」の摂取がHp陽性者に及ぼす影響を調べました。

【方法】

H p陽性男性16名(平均54.6歳)に「ワカメイトPH」1日1回1包を約100mLの水に混ぜ、8週間連続摂取させました。摂取前、摂取後および摂取終了8週間後に、採便、採血しました。

【結果】

便中H p抗原検出用試薬「テストメイトピロリ抗原EIA」および「テストメイトラピッドピロリ抗原」により測定した便中H p抗原は、摂取後、低下し、摂取終了8週間後、摂取前のレベルに戻りました。

血清ペプシノーゲンI、II及びI/II比から胃粘膜に萎縮があると判定された7名のうち3名が摂取後に判定値が改善されました。

【結論】

「ワカメイトPH」は、胃内H pの抑制および胃粘膜の萎縮改善に有効であることが示唆されました。

【用語解説】

「ワカメイトPH」とは

「ワカメイトPH」は、わかもと製薬が独自に開発し、2004年3月より販売している健康食品です。健康素材として、わかもと製薬が独自に開発した乳酸菌〔*Lactobacillus salivarius* WB 21 (ラクトバチルス・サリバリウス菌WB 21)〕に、食物繊維サイリウム種皮を配合した粉末ゼリー飲料です。

この健康食品は、プロバイオティクス(乳酸菌：*Lactobacillus salivarius* WB 21)とプレバイオティクス(食物繊維：サイリウム種皮)を配合したシンバイオティクス健康食品です。

乳酸菌：*Lactobacillus salivarius* WB 21とは

「ワカメイトPH」に用いている *Lactobacillus salivarius* WB 21 は、わかもと製薬が保有する乳酸菌の中から選出されたプロバイオティクス乳酸菌の1種です。

健康なヒトの腸内から分離された乳酸菌 *Lactobacillus salivarius* WB 1004 を、胃の中によく似た酸性の環境下で育て、生き残った菌株を選出し、WB 21 と命名しました。

サイリウム種皮とは

サイリウム種皮は、プランタゴ・オバタという植物の種皮を粉末にしたものです。

サイリウム種皮の約90%は食物繊維です。水分を吸収すると30~50倍に膨れる性質があります。

また、サイリウム種皮は、整腸作用や腸管からのコレステロールや糖分の吸収抑制作用等を有することが認められており、特定保健用食品をはじめとし、健康食品素材として広く利用されています。

注) 食物繊維は「ヒトの消化酵素で消化されない食品中の難消化性成分の総体」と定義されています。

「*Helicobacter pylori*」(ヘリコバクター・ピロリ菌)とは

ピロリ菌は、胃に感染し、胃炎および消化性潰瘍を引き起こす病原菌です。また、胃がんの発生にも関与すると考えられています。日本人の約50%以上がピロリ菌に感染していると推定されています。

便中Hp抗原検出用試薬「テストメイトピロリ抗原EIA」および「テストメイトラピッドピロリ抗原」とは

わかもと製薬株式会社が独自に開発したモノクローナル抗体を用い、糞便中に排泄されるHelicobacter pylori 抗原を特異的に検出し、Helicobacter pylori 感染の有無を判定する体外診断用医薬品で、いずれも保険適用（160点）されています。

「テストメイトピロリ抗原EIA」は協和メデックス株式会社に、「テストメイトラピッドピロリ抗原」は日本ベクトン・ディッキンソン株式会社に、それぞれ販売を委託しております。

血清ペプシノーゲン法とは

血液中の血清ペプシノーゲン値を測定することにより、胃粘膜の萎縮状態を調べる検査で、上部消化管検査のひとつです。

胃粘膜に萎縮があると萎縮性胃炎、胃がんなどが疑われます。

胃粘膜の萎縮が進むにつれ、胃底腺領域が縮小していくため、血清ペプシノーゲンの量や血清ペプシノーゲン / の比率が減少します。この度合いによって、胃全体の萎縮の進行度がわかります。

プロバイオティクスとは

プロバイオティクスは「宿主の腸内細菌叢のバランスを改善することにより、宿主に有益な作用をもたらす生きた微生物」と定義されています。

プレバイオティクスとは

プレバイオティクスは「ヒト消化管で消化・吸収されず大腸に到達して、腸内細菌叢を修飾することによって腸内の有用菌（ビフィズス菌など）を増殖させるなど、宿主に有用な作用を及ぼす物質」と定義されています。

各種オリゴ糖、糖アルコール、食物繊維水解物などがこれに相当します。

シンバイオティクスとは

シンバイオティクスは「プロバイオティクスとプレバイオティクスを併せ持つもの」と定義されています。

「ワカメイトPH」はプロバイオティクスである乳酸菌：Lactbacillus salivarius WB 21と、プレバイオティクスであるサイリウム種皮を配合したシンバイオティクス製品です。

本件に関する問い合わせ先

わかもと製薬株式会社 研究開発本部 ヘルスケア開発部

〒103 8330

東京都中央区日本橋室町1-5-3

電話03(3279)0682

ファクシミリ03(3279)6450

以上